



Title	機械器具工場の民軍転換・軍民転換に関する資料 : 兵庫県の事例
Author(s)	沢井, 実
Citation	大阪大学経済学. 2016, 66(2), p. 1-18
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/57766">https://doi.org/10.18910/57766</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 【資料】

## 機械器具工場の民軍転換・軍民転換に関する資料\*

## — 兵庫県の事例 —

沢 井 実<sup>†</sup>

戦前期に民需生産を行っていた機械器具工場が戦時期になると軍需生産に動員され、敗戦とともに今度は軍需生産から民需生産への再転換を余儀なくされることはよく知られた日本経済史・経営史上の事実である。そうした民軍転換および軍民転換の実態について、社史などを調査することで個別ケースの実態にふれることはできるが、ある地域に所在する機械器具工場全体が総体としていかなる軌跡を描いたかになると、その全体像を把握することはなかなか困難である。

そうした研究史上の要請にある程度応えてくれる貴重な資料が、小論で紹介する兵庫県商工経済部編『工場現況調査』（1946年8月刊行、同年4月1日現在調査）である。同書の「はしがき」によると、調査対象は兵庫県下で「終戦時従業員五十人以上を収容して居た」工場589工場であり、同調査に対して資料を提出した工場は402工場であった。本調査では紡織、金属、機械器具、窯業、化学、その他、ガス電気の7分類が採用されているが、本資料ではそのうち機械器具工場169工場の転換動向が示されている。

本調査でいう「戦時中」とはいつを指すのか明示されていないが、戦時中の労務状況では動員学徒を含んでいるため、太平洋戦争後半期で

あることは間違いない。「戦前」（これもいつを指すのか明示されていない）、「戦中」、終戦から8カ月も経ていない「現在」の3時点における主要生産品目、「戦時中」と「現在」の男女別労務者数、「転換状況」、「戦災有無状況」、1946年4月1日現在での「生産阻害状況」を兵庫県全県ベースで教えてくれる本資料を検討することによって、われわれは民軍転換、軍民転換、さらに経済復興を開始するに当たって、機械器具工場が最初に直面した諸問題の実相について知ることができる。

最初に「生産阻害事情」からみると、ほとんどの工場が指摘するのが、燃料（石炭、コークス）、資材・副資材、食糧、熟練工、事業資金の不足であり、ヒト、モノ、カネのすべての生産要素が欠乏している切迫した事情を伝えている。事業資金の調達難の一要因として1946年2月に実施された金融緊急措置令による預金封鎖の影響が大きかった。また「受注額見返ニ依ル対銀行融資方懇請中」（表1-10）といった指摘からは、この時期の銀行融資獲得の難しさがわかる。「地方銀行支店ノ行キスギ措置」（表1-13）の実態はよく分からないが、金融不如意が大きな課題の一つであった。さらに輸送状況が悪いために疎開先から機械類を搬出できないといった事態も随所でみられた。戦時中に設備機械を疎開先に移送することも大きな困難を伴ったが、戦後その機械を元に戻すことはそれ以上の困難だったのである。「食糧事情ノ逼迫ニ依リ農漁等或程度ノ自給自足ヲ目シ欠勤者続

<sup>†</sup> 南山大学経営学部教授・大阪大学名誉教授。

\* 本稿作成に際して、平成28年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究[C]、課題番号15K03576）による研究助成を受けた。

出」(表1-13)を訴える工場もあり、食糧事情の悪さが欠勤率の高さに直結していた。

戦災による被害だけでなく、1945年9月の風水害による被害も大きかった。また「治安不安定ニヨリ残業不能」(表1-3)が指摘され、「官庁間ニ於ケル枠及現物ノ奪合及事務渋滞」(表1-4)を指摘する企業もあった。陸海軍は消滅していたが、依然として「不足経済」下での資材をめぐる官庁間争奪が続いていたことをうかがわせる。さらに「外註部品入荷不調」(表1-5)、「外註品部品入手難」(表1-13)といったように生産ネットワークの寸断が物不足の困難を倍化させていたのである。

「賠償用機械設備ノ範圍未確定」(表1-7)、「賠償関係未確定ノタメ恒久企業ニ使用シ得ベキ場所、設備機械確定セサル」(表1-8)といったように賠償問題の未決着が復興の阻害要因となっていた。また賠償指定ではないが、「進駐軍宿舍及自動車修理工場トシテ接收サレ又軍政部駐在ノタメ全機械設備ノ移転ヲ命ゼラル」(表1-8)、「昭和21年1月11日連合軍第一軍団司令部ヨリLG91号ヲ以テブルドーザーミッションヲ製作中」(表1-9)、「米軍ニ接收サレ土地建物全部失ヒタリ」(表1-12)といったように占領軍による接收、生産指示によって復興の方向性を決定づけられる場合もあった。

戦時動員に関してまず目につくのは、航空機部品、船舶・船用機関部品生産、通信機関連、兵器生産の大きな拮抗りである。戦前に家庭金物を作っていた金華電機工作所は戦時期に「電機、通信機部品」に転換し、戦後もラジオ部品、電機部品からスタートした(表1-1)。戦前に電気器具メーカーであった朝日工業所は戦時中に「航空機用発動機部品、艦船用電気機械部品」に転換し(表1-1)、戦前に「ボールナット、その他諸機械」生産の山陽製作所は戦時中に「潜水艦部品、内燃機部品、甲造船

部品、乙種船部品」を生産し、戦後は戦前に回帰した(表1-2)。

戦前に漁船、内燃機生産を行っていた塩野鉄工所は戦時中には航空機部品を主要生産品目に加え、戦後は自動車部品を手がけた(表1-3)。日本内燃機(1941年4月に日本スピンドルと日本内燃機が合併して日本内燃機となる<sup>1)</sup>)および大阪機械製作所は戦前には有名な紡績部品、紡績機械メーカーであったが、戦時中には前者は爆弾発火装置、後者は航空機用鍛造品などを生産し、終戦後になると両社とも本業に回帰した(表1-4)。金井重要工業も戦前には紡績部品、トラベラーなどの著名なメーカーであったが、戦時中は航空機部品が筆頭生産品目であり、戦後直後には本業に回帰すると同時に農機具などの生産も行った(表1-5)。戦前にスピンドルを生産していた尼崎の久々知工作所は戦時中に弾丸、貯油槽などを作り、さらに戦争末期には松根油生産の急拡大<sup>2)</sup>を反映して松根(乾留)釜を生産したが、戦後はスピンドルに回帰せず、主軸製品を模索中といったところであった(表1-6)。

表1-5にある尼崎精工を1938年2月に設立したのが、三菱電機の技術者、川北電気工業の工場長を経験した杉山賛一(1908年東京高等工業学校電気科卒)であった。表1-5によると同社は戦前に「信管部品、電気器具、マイクロメータ」を生産し、戦時中には「火砲部品、信管部品、弾〇部品、電気高射標準具」などを生産し、46年4月現在では「電気コンロ、配線器具、電気扇、印刷機械、農耕用電動機」を生産した。戦時中の従業者数は2000人を超え、戦後もすばやく民需転換を実現して46年

<sup>1</sup> この間の経緯については、沢井実「桑田権平と日本スピンドル製造所」(『大阪大学経済学』第61巻第2号、2011年9月)9-10頁参照。

<sup>2</sup> 1944年10月23日の閣議決定「松根油増産要綱」では、松根油の最終目標は10万キロリットルとされ、全国に1万4070基の乾留釜が設置されることになった(鳥居民『昭和二十年-首都攻防戦と新兵器の開発-』第1部6、草思社、1996年、257頁)。

4月には700人を超える従業員がいた。創業者の息子であり、39年から同社人事課に勤務した平一（37年東京帝大文学部卒）は終戦の日に『徴用解除や！』と喚呼の声をあげて、寮の方へ駆けて行く徴用の人たちの姿が目には焼きついている。（中略）終戦の翌日、おとなしい台湾の人が、社長室に入って、怒鳴りはじめたのに、びっくりした。この人たちの鬱屈した感情に、気づいていなかった」と回顧している<sup>3</sup>。

「撃墜したB29から分捕ってきたという電気計算機を分解して研究をはじめ、その専門職人を採用したり、航空学科を出たため失業した東大生や京大生から、復員してきた技術将校まで採用した」尼崎精工は1947年より電気扇風機生産に注力し、電気機械輸出の先陣としてAMACD印扇風機を東南アジアに輸出した。しかし50年9月のジェーン台風によって工場が倒壊し、再建は困難をきわめた。54年に同社はわが国初の「還流式」洗濯機を製造したが売れ行きは伸びず、56年に破産した<sup>4</sup>。

西宮の川崎電機工作所は戦前には扇風機、チエンブロックを生産したが、戦時中は航空機部品を加え、戦後になると本業に回帰すると同時に小型モータや電熱器も生産した（表1-8）。土井正機製作所は戦前には粉碎機、製粉機、精白機を生産したが、戦時中は「輸送艇推進軸及付属品」などを生産し、戦後は戦前生産に回帰した（表1-9）。伊丹の鐘淵機械工業および神津製作所は戦前には紡績部品、紡績機械を生産し、戦時中は両工場とも航空機部品に転換し、戦後ふたたび本業に回帰するといった軌跡を描いた（表1-9）。戦前に繊維機械を生産した東亜金属工業は戦時中は船舶部品、航空機部品を生産し、戦後になると「抜根機」を生産した（表1-11）。

戦前にラジオを生産した山中電機は戦時中に

は通信機を生産し、1946年4月現在では「電気製塩目下準備中」であった（表1-11）。河部農機は戦前に脱穀機、除草機などを生産し、戦時中は舟艇部品、火砲部品生産に従事し、戦後は本業の農機具生産に回帰した（表1-12）。戦前に鋤などの「小農器具」を生産した八鹿鉄工は戦時中には「呉海軍工廠電気部分品」を生産し、終戦後は農機具生産に回帰する（表1-13）。

以上のいくつかの事例からもうかがえるように戦前に民需品生産を行っていた中小企業の多くは戦時中には航空機部品、船舶部品、通信機、兵器部品などの生産に動員され、戦後は戦前の本業に回帰するものと本業に回帰せずに新たに他の分野に踏み出そうとするものに別れた。両者にとって戦時生産の経験とは何だったのか。諸資源の不足が深刻化する戦時下において生産の現場に大きな負荷がかかり、不条理ともいべき事態が随所で現出したことは事実であるが、一方で軍需品、航空機部品、通信機部品などの厳しい規格、要求内容を満たすために中小機械器具工場には大きな飛躍が求められた。その時の不条理と戦時合理化の二重の経験が、本業に回帰したあるいは新たな分野に転進していった諸工場をどのように変化させていったのか。この問いに答えることは民軍転換と軍民転換の経済史分析にとって大きな課題の一つである。

最後に1946年4月という経済復興が緒に着いたとはとてもいえないような終戦直後期にあって、戦前からの安定的な本業製品がある場合は別として、多くの工場が急場凌ぎの生産品目に選んだのが、農機具、電熱器、機械器具・電気器具の修理、家庭用金物などであった。燃料不足を背景にした家庭における電熱需要の高まりが、電熱器生産拡大を支えていた。しかしこうした生産、修理活動の過渡的性格は否めず、各工場が主軸となる製品を見出すまでにはまだ長い年月を要することになったのである。

<sup>3</sup> 以上、杉山平一『わが敗走』編集工房ノア、1989年、156-157、161、274頁による。

<sup>4</sup> 以上、同上書、275、279-280、287-292頁による。





表 1-2 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在		
神戸	兵庫造船(株)	180 180	各種船舶建造修理	各種船舶建造修理		92 0 92	76 0 76	全焼 復旧程度 70 %	各種原材料入手難 有為労務者 食料不足
	三菱電機(株) 神戸製作所	120,000 120,000	水車発動機 タービン発動機 その他同期機 船舶用直流機 船舶用電気品 配電盤	戦車船舶用電表用品 航空機用電表用品 配電盤 船舶用直流機 水車発動機 タービン発動機 その他同期機	発電機 発車電動機 制御機 昇降機 補機(配電盤等)	6,146 2,822 8,968	1,062 182 1,244	転換進捗 100 % 工具不足 資材不足 資金不足	
	原鉄工所	300 300	船舶機装用品 農具	船舶機装用品 潜水艦	機関用品 農機具	10 2 12	15 0 15	第一工場健全 第二工場全焼	食糧不足ニテ労務者 出勤率低下 燃料不足
	(株)山陽製作所	300 300	ゼーレントナット その他諸機械	潜水艦部品 内燃機部品 中造船部品 乙種船舶部品	建築用ボールドナット 車輦用ボールドナット 内燃機用ボールド ナット	58 23 81	26 8 34		原材料、燃料、機械油、 切削油、その他一般工具 不足
	高祖鉄工所	300 300	航空機部品 精密捻子類	発動機用 板機器部品	精密螺子類 電機部品	34 7 41	16 2 18	ナシ	機械類が疎開先ヨリ 持帰り出来サルタメ 材料燃料入手難
	渡辺工作所	200 200		潜水艦海防艦ノ内部 構造 船舶修理	鉄船舶修理 戦災復興鉄骨建築 修理	74 4 2 78	44 2 46	一部罹災 資材不足ノ為復興ナラズ	資材不足 熟練工不足
	菊水造船(株)	1,000 1,000		曳船修理 船舶修理	曳船修理 船舶修理	270 20 290	223 7 230	転換ヲ要セズ	復旧工事ニ必要ナル 軸条及柱本並船舶木材 ノ入手難
	三和工業(株)	185 185	車輛部品 製品	船舶無線部品 車輛部品	営業用電熱器 電動機修理 変圧器修理 車輛部品	45 52 97	24 5 29	全焼 現地復旧不可能ニテ 仮工場ニテ70 %復旧	資材入手難 仮工場ノ狭隘ニテ 機械類設置不可能 ニヨル
	山陽内燃機関製作所	1,300 1,300	船用焼玉機関	船用焼玉機関	船用焼玉機関	140 50 190	89 7 96	ナシ	主要資材特ニコークス及 油類ノ入手難 食糧事情及熟練工ノ 入手難 戦時中増産ノタメ 機械ノ消耗ノ個所 多キタメ
	阪神内燃機工業(株) 神戸工場	6,000 6,000	陸船用ディーゼル機関 焼玉機関	陸船用ディーゼル機関	陸船用ディーゼル機関	1,001 91 1,092	733 50 783	ナシ	主要副資材ノ入手難 食糧事情ノ悪化ニ依ル 労働力ノ低下
日本	日本発動機(株) 本社工場	4,000 2,000	船用焼玉機関 船用ディーゼル機関 陸用焼玉機関	80馬力石油機械 中速型ディーゼル機械 高速ディーゼル機械 F型550馬力ディーゼル機械	船用焼玉機関 転換ノタメ工場整備中 電動機直結高速 製粉機	579 48 627	100 7 107	二階建木造事務所 一種全焼等	原材料不足 従業員ノ不足
	日本発動機(株) 兵庫工場	4,000 2,000	海軍航空機用爆弾本体 金物	海軍航空機用爆弾本体 金物	製糸工事 工作機械修理 発動機製作	123 27 150	73 7 80	ナシ	鉄鋼入手困難 コークス、石灰皆無
	鎮西工業(株) 神戸造船工場	324,000 324,000	焼玉 ディーゼル レシプロ	焼玉 ディーゼル レシプロ	蒸気機械 製粉機 鍛造	600 130 730	118 4 122	復旧程度 85 %	燃料(特ニコークス、石灰) ノ不足 資金関係

表 1 - 3 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
神戸	(株)三光造船所 神戸工場	10,000 10,000	鋼製貨物船 船舶修理	鋼製貨物船 船舶修理	鋼製貨物船及油船 各種船舶修理 製材	500 12 512	130 5 135	転換ヲ要セス	80 %ノ焼失 復旧工事大体完了セリ	労務者ノ不足 食糧ノ不足 船舶ノ決定セザルコト 資材ノ手難
	山陽電気鉄道((株))	30,000 22,500	車輛修繕 部分品製造	車輛修繕 部分品製造	車輛修繕 部分品製造	170 30 200	280 35 315	転換ヲ要セス	明石工場破壊焼失	資材ノ手難 資金面封鎖
	(株)星野工作所	500 500				180 65 245	27 6 33		和歌山工場全焼	油ノ配給皆無 食糧不足ノタメ工具 出勤者少キタメ
	埴野鉄工所	190 190	漁業用船舶 内燃機	航空機部品 曲軸 気筒調 加工及治具金型	自動車部品	110 60 170	16 3 19	現在進捗中 5 %	被害程度 100 % 復旧程度 30 %	工場建設資金・資材 (木材・釘・セメント・飯) 燃料(石炭・コークス) 運送関係
	(株)川西機械製作所 神戸工場	38,000 26,750	繊維機械 通信機 真空管 電球 K線管球 衡器類	同左	真空管 タンクステン、モリ フテン粉末 向上成品 工具類	1,165 419 1,584	479 285 764	20～40%転換済	建物ニ対スル被害 60%	生産資材ノ人手難 戦災工場復興資材 入手難
	(株)大神鉄工所	195 195		内燃機関用部分品 船舶部分品	機関車用電気部分品 造船部分品	62 3 65	54 6 60	100%転換済	被害程度 10万円 復旧程度 100 %	食糧不足ニヨリ出勤率 低下 資金関係ニテ資材 入手難
	入江工作所	500 500		油圧作動機 航空機部品		200 70 270	13 7 20	転換計画中	全焼 復旧程度 80 %	資金難 疎開地ト工場ナルタメ 地利悪シ 従来ノ仕事ノ性質上 資材難、生産品目ノ 決定ツカズ
	(株)浜田鉄工所	600 600	船舶修理	焼玉機関	船舶修理	100 5 105	90 5 95		被害程度 30 % 復旧程度 20 %	食糧事情(給食)ノ不足 ニヨリ工員欠勤多キタメ
	(資)奥井電気工作所	40 40	発電機 配電盤 電動機加工修理 陸船舶電気機装工事	発電機 配電盤 電動機加工修理 陸船舶電気機装工事	発電機 配電盤 電動機加工修理 陸船舶電気機装工事	37 12 49	49 9 58		資材倉庫二棟焼失	
	王子精機工業(株)	6,625 6,625	模型製作 プレス加工 ピッチ(船舶) ホーコン ダイカスト 諸機械修理	航空発動機部品 ピストンピン 惑星歯車軸 調整線 油ポンプ 油圧切損弁 プレス加工	船舶用発動機部品 調整装置資金取付 燃料ポンプ ノズル ストラップピン 紡績機械部品 諸機械修理 プレス加工	150 180 330	37 3 40	80 %進捗中	中ノ島、松原分工場 焼失	食糧難ニ依ル工員ノ 作業能率低下 原料資材ノ手難
(株)石原造船所	600 600	一般船舶 汽機 汽機 内燃機 製造修理	一般船舶 陸軍舟艇 汽機 汽機 内燃機 製造修理	一般船舶 汽機 汽機 製造修理	296 5 301	118 3 122	現在戦前ノ生産種目ニ 復ス 但シ内燃機製造ハ 工場焼失ニ付廃止	新在家、島上、本社 溶接工場全焼	連戦軍ニ接収サレ生産 シ得ス 現金財難ニ依リ資材ノ手難 食糧不足ニヨリ能力低下 治安不安定ニヨリ残業不能	

表 1-4 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		現在	労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中		戦時中	現在			
神戸	(資)東亜精機工作所	330 330	航空機部分品 高圧弁 船舶部分品	船舶部分品 航空機部分品 多種類生産二付記載不能	客車点灯用発電機 客車客房装置	80 5 85	73 5 78	進捗率 95 %	一部ノ分工場ニ被害アリ	高物価ニ伴フ結上ノ施策 給食ノ不円滑 燃料不足 金融上ノ障害 インフレニ伴フ労務者ノ異動
	中村鉄工所	300 300	機械部品 各種金型	航空機部品金型 クランク加工 新設機械ノ据付付属機械 ノ製作	機械部品 一定ノモノナシ	50 1 51	10 0 10	四月一日操業開始ス	全工場 15 %ノ被害	給食ナキコト 物価区々ノタメ賃金ノ標準 法定ニ因ル 労務者居住宅ナキコト 交通費高キコト
	三菱重工業(株) 神戸造船所	10,000,000 7,500,000	新造船修繕船 船用主機・補機 発電機械 陸上機械 鉄構製品 その他	新造船 修繕船 船用主機・補機 船用発電機 その他	新造船修繕 電気ボイラー 蒸気タービン トクタクター 冷凍機械 その他	16,000 1,000 17,000	5,400 200 5,600	転換率 100 %	被害率 26 % 復旧率 30 %	資産ノ入手難 生産意欲減退 官庁間ニ於ケル枠及現物 ノ都合及事務渋滞 輸送(燃料油)ノ困難 その他
	岡崎車体製作所	500 500	自動車車体	兵器部品	人造肥料製造装置部品	23 10 33	30 2 32	従来ノ作業継続中	工場ノ約70 %罹災 約50 %復旧	食糧及資材不足ノ為
	(株)前田鉄工所	1300 1300	内燃機関製造 (船用)	内燃機関製造	万能研砕機	220 30 250	25 30 30	終戦後一般民需用品 製造ニ邁進	全焼 現在工場建設中ナレド 資材入手困難ノタメ 復旧遅々トシテ進マズ	資材入手難 資金関係
尼崎地区	帝國精密工業(株) 神戸工場	500 500	螺子類 航空機部品 工作機械 兵器部品 その他	螺子類 工作機械 その他	木工機械 タレット旋盤 紡績機械	750 120 870	253 19 272	60 % 戦後残存機械ヲ 以テ操業着手中	事業資金難 労務者食糧難 副資材取得難	
	日本内燃機工業(株) 本社工場	10,000 10,000	1944年8月創立	発動機 給水ポンプ 消防ポンプ 電動発電機 交流発電機	メリヤス織機 相違速電動機 交流発電機 発電機械 給水ポンプ 製粉機 金臼	1,166 230 1,396	301 49 350	転換済	被害程度 建物 50 % 復旧程度 建物二三割 新築中ナルモ資材難ノ タメ意ノ如クナラズ	資金関係 資材、副資材入手難
	東和機械工業(株)	600 600	高速度直結ボール盤 紡績機械 同上・部分品	高速度直結ボール盤 砲架砲鞍 諸機械部品	食糧加工機械 被損諸機械修理	241 2 243	38 0 38	適当ナル受注未ダ見付 カラズ	工場内製品倉庫ノ一部 焼失	資材及副資材入手難
	山岡内燃機(株) 神崎工場	13,000 13,000	小型ディーゼルエンジン 中型 大型	小型ディーゼルエンジン 中型 大型	小型ディーゼルエンジン 主要部分品	1,080 145 1,225	141 4 145	100 %転換済	機械設備 37 % 建物 59 %	外註工場ノ未稼働 石灰、コークス不足 食糧不足ニヨル従業員 募集難
	日本内燃機(株) 尼崎製造所	25,000 21,250	紡績用スピンドル リング ローラー	砲弾発火装置 燃料ポンプ 機関砲彈	紡績用スピンドル リング ローラー	600 900 1,500	111 58 169	約90台(14 %操業)ノ 機械数ヲ運転シ主トシテ 修理等ノ生産ヲナス	ナシ	資材副資材等一部現金ヲ 請求シ又封鎖引出困難 ナルタメ正常運転困難 食糧不足ノタメ労務者充足 困難
(株)大政機械製作所 尼崎工場		20,000 20,000	紡績機械 鍛冶 鍛圧機械 鍛圧機械 製缶工事 その他	航空機用鍛造品 鍛冶機械 石油製井機 製缶工事 噴進製穀	紡績機械 鍛冶 鍛冶 鍛冶 鍛冶 鍛冶	886 45 931	240 8 248	転換済	ナシ	従業員不足



表 1－5 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		現在	労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中		戦時中	現在			
尼崎	日立製作所 尼崎工場神崎工場	700,000 437,500	起重機部品 電気機械修理	起重機部品 電気機械修理	電気機械修理	80 16 96	46 11 57	転換済		揮発油その他脂油類又綿糸 ノ人手難 労務者加配ナキタメ 作業衣入手難
	(株) 浄水工業所	200 200	硬水軟化機 濾過機 連給缶水吐出表置 揚水機	硬水軟化機 濾過機 連給缶水吐出表置 揚水機	硬水軟化機 連給缶水吐出表置 揚水機 機械器具	16 5 21	28 7 35	淀米ノ製品以外機械化 農機具ノ製作ニ着手	全焼	主資材、副資材入手難 工場未完
	金井重工業(株) 尼崎工場	8,000 8,000	トラバラー 糸道類 針 刺栓 その他繊維製品	航空機部品 トラバラー 糸道類 針 刺栓 その他繊維製品	トラバラー 糸道類 針 刺栓 その他繊維製品 農機具その他	201 108 309	104 56 160	65 % 転換	僅少部分焼失	燃料不足 溶接用ノ焼入用酸素ノ不足
	木村鉛鉄機械工業所	2,500 2,500	蒸留機 反収機 反忌機 結晶機 乾燥機 冷却機 耐酸ポンプ	小型容器 銅張製品 21町槽銅張 12 屯車銅張 タンク銅張 銅管	銅管 鉛板	264 23 287	146 15 161	転換ヲ要セズ	一棟全焼 現在鉛板工場増築中	鉛板工場増築中ナレ共 諸資材不足ノタメ円滑ニ ユカズ 工員不足
	(株) 関西鋳鉄所	500 375	鉄道車輛部品 ジャッキ チェンブロック 船舶部品	船舶部品 航空バルブ 車輪部品 ジャッキ	鉄道車輛部品 農機具 トラクター部品 鋸、鋤、家庭用鋸 ミンチ、メリヤス機械	120 50 170	105 15 120	終戦後無休 転換操業続行中	大阪本社 尼崎工場 全焼	石炭入手困難
	東亜バルブ(株) 立花工場	5,000 5,000	弁及嘴	弁及嘴	弁及嘴	450 30 500	110 4 114	転換ヲ要セズ	10 % ノ被害アリタルモ 現在ハ復旧ス	燃料不足 労務不足 (特ニ木製工、 鋳物工、仕上工) 輸送能力不足
	橋本機工(株)	195 195	自動車部品	船舶用バルブ 自動車部品	ラジオ部品 電気器具 自動車部品	20 5 25	15 5 20	100 % 転換済	ナシ	操業資金ノ運用困難 材料工具類ノ人手難
三和特殊製鋼(株)	東邦輸送(株)	1,000 1,000	エレベーター コンベヤー	エレベーター コンベヤー	エレベーター	185 24 209	97 8 105	転換ヲ要セズ	ナシ	各種資材入手難
	三和特殊製鋼(株)	2,900 1,750	耐酸ポンプバルブ類 セメント、硫酸肥料 製造用耐酸機器類	耐酸ポンプバルブ類 セメント、硫酸肥料 製造用耐酸機器類	セメント製造用キルン 部品 耐熱特殊鋳鋼 硫酸化学肥料用 耐酸ポンプバルブ 一般化学工業用機械	138 6 144	53 3 56	戦前ノ約 35 % 程度操業中 ナルモ諸条件不備ノタメ 復旧遅シ	被害程度 15 万円余	事業資金削減 修理工用資材その他機械 入手難 各部門労務員不足 石炭、コークス等燃料
	尼崎精工(株) 本社製造所	10,000 10,000	信管部品 電気器具 マイクログローメータ	火砲部品 信管部品 砲口部品 電気高射標準具 その他	電気コンロ 配線器具 電気扇 印刷機械 農船用電動機	1,663 385 2,048	498 225 723	転換完了ス	建物 22 棟 機械設備 875 台焼損セルモ大凡 復旧セリ	食糧不足 資金員額ノタメ 原材料入手難 熟練工不足 外注部品入荷不調

表 1 - 6 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	戦前	主要生産品目		現在		労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
				戦前	戦時中	現在	戦時中	現在				
尼崎	(株)久保田鉄工所 武庫川工場	63,000 42,750	平削盤 ローレル旋盤 繰削盤 瓦斯弁 特殊弁 鉋山機械 ローラー輸送	粉砕機 瓦斯弁 制水弁 製材機		386 17 403	141 6 147				鋳物工場 7割ノ被害 機械工場ハ被害僅少 ニシテ復旧作業中	コークス入手難ニテ銑鉄 鋳物入手難 工具住宅不足ノタメ熟練工 ノ吸収出来ズ
	特殊発條興業(株)	150,000 150,000	ばね ばね座金	現在ハ機械輸送中 ナリシタメ見ルベキ 生産モナカリシ		114 31 145	21 8 29		60 %転移中 60 %完了	ナシ	疎開機械輸送困難ノタメ 工具給食事情 部分品工具等購入難	
	久々知工作所	300 300	弾丸 貯油槽 ナイールブローカー 松根釜	油入遮断器 鋳品 車輦部品		114 55 169	61 2 63		100 %完了	ナシ	工具不足 資材不足 燃料不足	
	大和金屬工業(株)	3,000 3,000	高圧ガス容器 航空機搭載用小型高圧 ガス容器 砲弾増出加工	高圧ガス容器		246 60 306	64 8 72		完了	ナシ	水圧プレス工場操業ニ 対シハバックキング類ノ入手難 機械油ノ不足	
	(株)旭金屬工業所	500 500	信管部品 自転車中袋 空気弁 自動車中袋	自動車中袋 空気弁 地下足袋ゴハゼ		190 412 602	38 64 102		転換程度 80 %	被害 90 %	食糧 資金関係 資材入手難	
	日本鍛工(株) 尼崎工場	30,000 25,125	自動車用部品 車輦部品 その他一般(各鍛造品)	自動車用部品 魚雷部品 その他兵器(各鍛造品)		1,029 120 1,149	42 0 42		転換ヲ要セス	被害程度 5 % 復旧完了	資材(就中石炭油脂ノ入手 困難) 労務者ノ充足意ノ如クナラ サルタメ	
	電熔工業(株) 神崎工場	6,000 6,000	各種金屬切削工具 各部兵器部品 特殊鋼	各種金屬切削工具 各種農工機具 特殊鋼		460 270 730	102 0 102		被害程度 設備ノ50 % 復旧程度 20 % 製鋼部門 20 % その他 10 %	燃料(石炭、コークス)入荷 不足 売掛金等ノ債権未収入 資材入手難 食糧不足ニヨル労力ノ不足		
	大同製鋼(株) 尼崎工場	132,000 82,500	特殊鋼板 普通鋼板 普通鋼丸鋼 丸打 特殊鋼丸鋼 重鉛鉄板	特殊鋼板 普通鋼板 普通鋼丸鋼 丸打 特殊鋼丸鋼 重鉛鉄板		1,200 50 1,250	664 66 730		転換ヲ要セス	被害 40 % 復旧程度 20 % 製鋼工場 20 % その他金工場復旧完了	食糧事情ノ悪化 措置金ニヨル資金的障害 石炭入手難 従業員ノ生活難	
	東洋鋼業(株)	500 500	鋼材圧延 粉砕用ボール 鉄道車輛部品 自動車自動車用部品 その他鋼造型打 機械器具	粉砕用ボール 農機具及工具 鋼材圧延 その他鍛造型打		120 0 120	45 6 51		1月10日付民需転換許可 ヲシタルモ石炭等、配給 減失浸水ニテ多大ノ 損害蒙レリ	被害ナシ 但シ風水害ニテ資材 流失浸水ニテ多大ノ 損害蒙レリ	鋼材入手難 燃料供給ナキタメ生産 出来得ズ	
	金井重工業(株) 立花工場	8,000 8,000	鉄線 鋼線 針布線 真中線	鉄線 軟鋼線 高炭素鋼線 針布線 バネ用鋼線 ピアノ線		184 71 255	68 17 85		60 %転換済	ナシ	労務不足 副資材入手難	

表 1-7 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)

表 1 - 7 大庫栄・機械器具工場の状況調査 (1946年4月1日現在)														(千円、人)	
地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情					
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在								
尼崎	(株)根原金属製錬所	150 150	車輛部分品 諸機械用部品 半田	諸機械用部品 非鉄金属製錬	車輛部分品 半田 諸機械用部品 非鉄金属製錬	57 8 65	43 5 48	100 % 転換済	ナシ	事業資金現金引出困難 燃料 労務者用主食副食物配給 ナキタメ 原料					
	旭架線金具製造(株)	300 300	ケーブルハンガー 架線金物	ケーブルハンガー 架線金物 スチールタイ	ケーブルハンガー 架線金物	17 25 42	61 32 93	大阪築港工場ノ機械 引取約 5 割整備復旧済	当工場 7 % 焼失	金融措置令ニヨル主タル 原材料以外ノ買付資金不円滑 燃料及ビ油類買入困難					
	(株)中山製鋼所 尼崎工場	90,000 60,000	薄鋼板 亜鉛引鉄板 ブリキ板	薄鋼板 亜鉛引鉄板 鋳物 薄鋼板第二次製品	休止中	420 36 456	76 2 78		ナシ						
	阪神電気鉄道(株) 車輛修理工場	75,000 75,000	電車ノ修理	電車ノ修理	電車ノ修理	220 27 247	265 19 284								
	阪神電気鉄道(株) 浜田車庫	95,000 75,000	電車ノ修理	電車ノ修理	電車ノ修理	36 2 38	38 2 40	転換ヲ要セス							
	錦洲機械工業(株) 尼崎工場	15,000 3,509	精紡機部分品 ハイスビード機	山砲及部品 実砲検定機 唧口棒 発動機部品	精紡機 ハイスビード機	522 7 529	361 91 452		組立工場、倉庫、油倉、 事務所、宿舍等全焼	倉庫焼失ニヨル手持資材 ノ不足 資材購入ノ困難 宿舍焼失ニヨル工員ノ減少					
	(株)中島製作所 松瀬工場	2,000 2,000	蓄電池機関車 蓄電池運搬車 電気自動車	蓄電池機関車 蓄電池運搬車 電気自動車	電気自動車	200 20 220	236 25 261	商工省ヨリノ指示ニヨリ 電気自動車生産中	被害僅少ニシテ生産 ニ支障ナキモ修繕ニ 用フル資材入手難ニシテ 当分ノ間修繕セズ	鉄鋼類ノ入手難 燃料 タイヤ 電線 食糧不足					
	東洋精機(株) 鉦工場	4,500 4,500	鉄工用炉	鉄工用炉	鉄工用炉	52 18 70	16 8 24	転換ヲ要セス	被害程度 20 %	資材及ビ副資材共ニ 入手困難					
	東亜鋳鋼(株) 神崎工場	1,200 1,200		鉄道車輛部品 電車モーター部品	鉄道車輛部品 電車モーター部品		51 24 75			副資材入手困難 求職支給困難					
(株)帝國鋳鋼所 神崎鍛造工場	6,500 6,500		兵器部品	林業部品 石炭用機器	160 25 185	10 2 12	目下進捗中	50 % 完了	食糧、油、石炭不足						
(株)日立製作所 松瀬工場	700,000 700,000														
延原製作所 神崎工場								全焼ノタメ転換困難ヲ極メ 居レリ	全焼						
特殊産業(株) 尼崎製作所	7,000 7,000	高圧空気唧筒 航空機油圧部品 型鍛造	型鍛造		16 0 16		貯蔵用機械設備ノ範囲 未確定ナルヲメ現在専ラ 伊丹本社工場ニ於テ作業 ヲシツツアリ	寄宿舎、教室、倉庫及 工場ノ一部ヲ焼失		燃料(コークス) 入手困難					
(株)大阪電機製作所 武庫川工場	250 250	電圧計 電流計 アスター	電圧計 電流計 アスター	電圧計 電流計 アスター	108 60 168	94 44 138									

表 1-8 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		戦前	戦時中		現在	労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中		戦時中	戦時中		戦時中	現在			
西宮	錦洲機械工業(株) 西宮工場	15,000 15,000		航空機主脚 尾脚	ナシ			ナシ	550 350 900	33 4 37	昨年9月進駐軍宿舍及 自動車修理工場トシテ接収 サレ又軍政部駐在ノタメ 全機械設備ノ移転ノ命セラレ	ナシ	左記事情ニヨリ目下生産 中止中
	(株)國森製作所	1,500 1,500	船舶修理 冷凍機		船舶修理 冷凍機			冷凍機 自動車ポンプ 電気アイロン 電気洗濯器 バリカン 電熱器 氷間器	106 13 119	210 36 246	転換届提出済	本社工場3割被害 神戸工場10割被害 復旧済	主資材及副資材ノ入手難 食糧関係 食糧事情 通信交通機関ノ復旧遅延
	菅原電機(株) 作業部工事係	750 750	電気設備施工請負工事	電気設備施工請負工事	電気設備施工請負工事			電気設備施工請負工事	175 5 180	86 3 89		復旧、鳴尾製作所 附近ニ設置営業中	現在ノ処ナシ
	(株)川崎電機工作所	2,000 2,000	扇風機 チエンプロロック	航空機部品 送風器	扇風機 小型モーター 電熱器 チエンプロロック			扇風機 小型モーター 電熱器 チエンプロロック	460 315 775	97 24 121		被害程度 100 % 復旧程度 約 20 %	資材入手難 食糧事情切迫 経済事情ノ不安定 その他人心動揺等重大 ナル原因アリ
	日本産業機械(株)	500 450	一般化学機械 醸造用機器並ビニ修理	砲弾加工並ビニ航空機用 合成ゴム製造機器	一般化学機械 醸造用機器並ビニ修理			一般化学機械 鉄道省車輛及部分品	90 15 105	50 0 50	工場一部復旧成り	工場全焼敷地面積 1865.3坪	主要資材並ニ副資材ノ 入手難路ニ依ル
	川西航空機(株) 本社	60,000 37,500	本社業務	本社業務	印刷 病院 工務店			印刷 病院 工務店	3,150	281			
	川西航空機(株) 鳴尾製作所	60,000 37,500	大型飛行機 木製プロペラ 機械部品 動力銃架その他	局地戦闘機 木製プロペラ	車輛 車輻モータ修理 自動自転車 小型発動機 齒車			車輛 車輻モータ修理 自動自転車 小型発動機 齒車	21,450	219	連合軍ノ工場保全命令 ニヨリ機械施設ノ使用不能 トナリシタメ計画変更シ 目下申請中	有 75 %	賠償関係未確定ノタメ 恒久企業ニ使用シ得ベキ 場所、設備機械確定ニサルタメ
	川西航空機(株) 甲南製作所	60,000 37,500	中型攻撃機 大型飛行艇		米櫃 釜 煙管 下敷 バックル スギ焼○ 電気製塩			米櫃 釜 煙管 下敷 バックル スギ焼○ 電気製塩	7,084	○	操業程度 15 %	相当ノ被害ニシテ 完全ナル建築物ナシ	
	川西航空機(株) 宝塚製作所	60,000 37,500	補機部品 (ポンプ類) 銃架 機械部品		自動三輪車・自転車試作中 小型発動機 齒車 電氣暖炉 電熱器			自動三輪車・自転車試作中 小型発動機 齒車 電氣暖炉 電熱器	14,614	178	電氣暖炉、電熱器、電氣 厨房器ハ試作完了シ、 製造免許申請中	被害 80 %	転換許可未着
	日本水力工業(株)	5,000 5,000		タービンポンプ 渦巻ポンプ	タービンポンプ 渦巻ポンプ			タービンポンプ 渦巻ポンプ	125 115 240	148 55 203		50 %	生糸 (ヤマ) 素材料ノ取得難 錠鉄 コークス
	(株)中田製作所 三田工場	1,000 1,000	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)			鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	70 45 115	95 2 97		鳴京被害ハ僅クナナルモ 風水害被害ハ金額 25万円程度ニテ目下復旧 事業中	資材入手難 錠鉄 コークス 諸油類 その他雜品不足

表 1 - 9 兵 庫 県 ・ 機 械 器 具 工 場 の 現 況 調 査 ( 1946 年 4 月 1 日 現 在 )

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		現在	労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中		戦時中	現在			
西宮	(株)土井正機製作所	2,000 2,000	粉砕機 製粉機 精白機	輸送搬推進輪及付属品 上陸用機械部品 手巻上細機 粉砕機	粉砕機 精白機 製粉機	280 45 325	120 6 126	50 % 転換	全焼 復旧程度 50 %	資材、副資材入手難 輸送ノ不円滑 工員給食不足ニヨル欠勤 工員支給品ノ不足
	中南製材工具製作所	2,500 2,500	製材用丸鋸機 〃 弓鋸機 〃 丸鋸 〃 帯鋸 金切弓鋸刃 金切弓鋸刃	金切丸鋸機 〃 弓鋸機 〃 丸鋸 〃 帯鋸 金切弓鋸刃 製材用丸鋸	製材用丸鋸機 〃 弓鋸機 〃 丸鋸 〃 帯鋸 金切弓鋸刃 〃 弓鋸刃	189 78 25 267	91 116			
	関西製作所	1,000 1,000	重板発條 自動車部分品 付属品	航空機用軸受 鋼材熱処理 重板発條 自動車部分品付属品	農機具 スプリング	230 120 350	68 15 83	転換完了	無	主要資材入手難 素材入手難
伊丹	東京芝浦電気(株) 神戸工場	622,000	船舶用無線電信 装置修繕	船舶用無線送信機	漁業用無線機 拡声装置 測定器類	156 53 209	54 22 76	転換要セズ	焼失建物 6 棟	資金面 資材入手難 労務者ノ住宅、食事情 燃料不足 (特に石炭) 食糧不足
	旭工機製造(株)	712 712	貯蔵槽 家庭用厨房用品 化学器械	厨房用品 化学器械	農機具 浴槽 厨房用品	210 20 230	156 20 180		住宅 2 棟、寮 1 棟、 倉庫 1 棟、焼失	
	錦油機械工業(株)	15,000 15,000	スピンドル リング ローラー トラベラー その他	航空機部品 (発動機) 主要部分品	スピンドル リング ローラー トラベラー	200 300 500	198 91 289		被害ナシ	食糧、労務不足 主資材 (鋳鉄、鋼材、特殊鋼 ノ不足) 副資材 (鋳造用コークス、石炭、 機械油)ノ不足
伊丹	(株)神津製作所	4,000 4,000	紡績機械 (糸巻機械)	航空機部分品	紡績機械 建築資材 木工機械	822 617 1,439	127 4 131	建築資材並木工機械 ハ錠々生産中 紡績機械ハ試作程度	被害ナシ	資材入手不円滑
	昭和精機工業(株)	400 400		航空機用発動機部品 プロペラー部品 機体部品 整備用工具	自動車、三輪車用 トランスミッション 紡績機部品	231 139 370	176 5 181	30 %	無シ	運転資金調達難 労務者給食ノ困難
	金井重工業(株) 伊丹工場	8000 8000	綿紡針布 毛紡針布 その他針布	綿紡針布 毛紡針布 航空機部品 燃料槽 防弾槽	綿紡針布 毛紡針布 その他針布	120 60 180	39 39 78	20 年 10 月ヨリ 21 年 4 月マデ 連駐軍全工場ヲ使用シ 居レリ	被害ナシ	終戦後熟練工ノ不足ニ依リ 目下針縫職工ノ復帰ヲ勧誘 シツツアリシモ充分ナル成果 ヲ見ズ 目下、養成ヲナシツツアリ 従 ッテ之レガ指導者ノ不足ヲ来シ 居ル現況ナリ
伊丹	(株)徳射アーマーゼル工業 伊丹製作所	750 750	堅削フライス盤 横中グリ盤	海軍特攻兵器 減速装置	アルドナーザ ミッション	280 288	87 87	昭和 21 年 1 月 11 日連合軍 第一軍団司令部ヨリ LG91 号 ヲ以テアルドナーザミッション ヲ製作中ナリ	戦災ナシ	
	日本精密工具(株)	2,000 2,000		タップ タイス ケーシ	タップ タイス 歯車 機器	360 160 520	135 25 160		無シ	熟練工員ノ不足 機械油、軽油、切削油 等ノ配給ナキタメ
	三菱電機(株) 伊丹製作所	120,000 120,000	航空計器 無線機器具 送配電器具 電圧器 水銀整流器 電圧調整機 電圧調整機 電圧調整機	航空無線機 航空計器 変圧器 送配電器具 水銀整流器 電圧調整機 電圧調整機	航空無線機 電圧調整機 電圧調整機 電圧調整機 電圧調整機 電圧調整機 電圧調整機	3,000 600 3,600	1,114 196 1,310	転換済	ナシ	燃料及副資材入手困難

(千円、人)



表 1 - 10 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在		
伊丹	大阪機工(株) 猪名川製造所	66,000 35,250		工作機械 電動機 陸軍砲 海軍砲 砲彈	紡機修理 電動機	3,600 65 130 3,730	760 65 825	紡績機械製造及修理ノ 転換ハ略完了シタルモ 修理陸路ノタメ製造約 20 % 修理約 90 %ナリ	従業員食料問題 輸送難 石炭、コークス等燃料 不足 資金調達難
	(株)精機工業所	1,000 1,000	歯車減速装置 歯車	航空発動機用歯車 歯車減速装置	歯車減速装置 歯車	568 105 673	150 0 150	被害ナシ	受注額見返ニ依リ対銀行 融資方懇請中 特ニ工場給食復活願ヒタシ
	伊丹産業(株) 本社工場	5,000 5,000	農具機械 紡績機械	爆弾外殻	鋳 支那鍋 フライパン 自転車空気入 ストーブ	916 221 1,137	101 15 116	倉庫一棟全焼 復旧工事実施シオナラズ 20 % 主要生産品計画中ニシテ 資材部品集荷中ナリ	資材原料ノ調達難 資金調達難 輸送困難 労務者調達難
	(株)精機工業所	1,000 1,000	歯車減速装置 歯車	航空発動機用歯車 歯車減速装置	歯車減速装置 歯車	568 105 673	150 0 150	被害ナシ	事業資金、特ニ薪門不足ニ 依ルモノ 労務要員ノ不足 工場給食ノ休止
	城呂軽合金(株)	800 800	家庭器物 車輦部品 紡績器具	航空機部品 その他車輦部品	家庭器具 電気器具 紡績器具	160 90 250	119 64 183	本社工場一部罹災 東京工場全焼 大阪工場全焼	事業資金ノ封鎖 燃料不足 食糧不足
明石	日鉄工業(株)	4,000 4,000	鋳鉄 鋳物	鋳鉄 工作及鍛圧機 鋳物 船舶用プレス機	製粉機鋳物 制輪子 トロロコ用車輪 農耕用物 プレス機用発動機部品	144 31 175	375 45 420	製材工場 全焼 倉庫 1 棟全焼	無
	特殊産業(株) 伊丹製作所	7,000 7,000	高圧空気唧筒 航空機用部品	製粉機 空気唧筒 圧切器		40 220 260	40 95 135	無	資材入手難
	月國工業(株) 神崎製作所	108,000 54,000		航空発動機	電車車体修理	926 642 1,568	83 24 107	30 % 復旧程度 0 %	食糧事情ニヨリ工員ノ勤労 低下 優秀工員ノ募集難 燃料不足 資材不足 (強制買上ノタメ)
	日本工具製作(株) 第一・第二・第三工場	2,000 2,000	シャベルスコップ 農機具 土工具 ツルハシ 航空機部品治具 木柄 木柄 鋼塊	シャベルスコップ 農機具 土工具 航空機部品治具 木柄 木柄 鋼塊	シャベルスコップ 農機具 ツルハシ 土工具 木柄	250 100 350	240 30 270	第三工場ハ民需ニ転換 申請中	主要資材タル硬鋼板ノ 生産低下 石炭及コークス 入荷皆無 工具類等金融関係ニ依ル 入手難等
	多木農工具(株)	300 300	シャベルスコップ 人力脱穀機 鋳細機 鋤 磨 磨	シャベルスコップ 人力脱穀機 製細機 農用旋風機 磨 磨	シャベルスコップ 人力脱穀機 製細機 農用旋風機 磨 磨	80 15 95	90 61 151	無	適資材入手困難 資材ノ入手時期ノ不適正
明石自動車工業(株)	大和製機(株)	3,000 750	小型自動秤 普通台秤 特殊秤量機 各種試験機	戦前ト同ジ	小型自動秤 普通台秤 特殊秤量機 各種試験機	299 35 334	98 7 105	100 % 転換	資材入手難 工場士建関係復旧ノ不如意 食糧事情
	明石自動車工業(株)	180 180		自動車修理加工	自動車修理加工 各種機械部分品	25 0 25	53 1 54	100 %	資材入手困難 封鎖支払ノタメ

表 1 - 11 兵 庫 県 ・ 機 械 器 具 工 場 の 現 況 調 査 ( 1946 年 4 月 1 日 現 在 )

表 1 明石 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)														(千人、人)	
地区別	会社工場名	公称資本金 私込資本金	戦前		主要生産品目		戦時中		現在		労働状況		転換状況	戦災有無程度	生産障害事情
			綿布	織維機械	車軸並部品 海軍部品	車軸並部品 海軍部品	船舶用主機並補機	陸軍 車輛並部品 海軍部品 船舶用主機並補機	戦時中	現在	戦時中	現在			
明石	錦洲工業(株) 高砂造機工場	324,000 266,120			F6型ゼーゼル主機械		500馬力3ERS型主機械 同上主復水器 織機修理	544 490 1,034	233 98 331			無		技術工員ノ不足	
	(株)川西機械製作所 大久保工場	38,000 26,750			通信機 真空管 化学薬品 その他		送信用真空管 X線管 絶縁油応用機器 短中波送受信機	3,402 3,631 600 7,033	1,000 600 1,600	70 % 転換済	水害ノタメ機械等ノ 被害甚シ 復旧程度 60 ~ 70 %	原材料不足 (タンクス、ステン、モリブデン) 燃料(石炭)不足 硝子吹込工ノ不足			
	東亜金属工業(株) 魚住工場	16,500 16,500		織維機械	船舶部品 航空機部品		抜根機	450 150 600	60 6 66	進捗率 100 %	魚住工場 建物 5 % 神戸工場 建物設備 100 %	コークス、カーバイド、酸素 等副資材入手難 直接資材入手難 復旧資材入手難			
	三木重工業(株)	3,000 3,000		車軸並部品 海軍部品	陸軍 車輛並部品 海軍部品 船舶用主機並補機		船舶用部品 農機具 機械修理 ラヂエーター	271 57 328	142 9 151	完全転換	ナシ	資材不足			
	(株)神戸製鋼所 大久保工場	700,182 700,182			切削工具類 瓦斯分離装置		切削工具類 瓦斯(時価ニ依ル肥料 製造用)	1,403 735 2,138	354 94 448	転換操業中	ナシ	工具部門ハ素材ノ入手不如意 機械部門ハカーバイド不足 転換用機器ノ不備			
	(資)大車機械製作所	186,000 151,000		製肥機 製紙機 紡績機 その他化学工業用機械	發動機分解台 工場用発動機工具 野外用発動機工具 飛行機特殊器具		化学肥料機 紡績機 農機具 和洋家具 製粉機	102 58 160	58 4 62	100 % 転換済	ナシ	金融関係ニテ資材入手至難			
	大和製鋼(株)	3,000 750		小型自動秤 普通台秤 特殊秤台機 各種試験機	同左		小型自動秤 普通台秤 各種試験機	299 35 334	98 7 105	転換済	被害程度 40 % 資材入手難ニテ復旧 意ノ如クナラズ	資材入手難 工場土建関係復旧ノ不如意 食糧事情			
	東亜金属工業(株) 土山工場	5,016 5,016		軽合金鍛造品 軽合金鍛造品 工作機械	軽合金鍛造品		円板ハロー 円板型 小農機 電熱器 電熱線	471 363 834	443 31 474		被害 40 % 復旧 70 %	副資材入手難 直接資材(薄鉄板、亜銅) 入手難 工場復旧建設資材入手難			
	印南産業(株)	1,200 1,200		バルブコック ボルトナット 一般部品	バルブコック 切換弁 航空機機体金属部品		浄化装置 バルブコック 水道用品 暖房用品	500 120 620	30 0 30		神戸市内外近工場 加古川工場全焼	資材入手難 燃料入手難			
	川崎重工業(株) 二見工場	300,000 150,000		東洋紡績ヨリ紡績業	航空発動機			3,804 412 4,216	13 0 13	東洋紡績ニ工場返還 ノタメ転換セズ					
	振興工業(株)	2,500 2,500		高射砲弾				750 1,030		専用設備ニ付転換出来ズ 目下休止中					
	錦洲紡績(株) 明石造機工場	2,800 2,800		焼球機関 蒸気機関 その他船舶用機械	焼球機関 蒸気機関		工場閉鎖								
	田熊汽罐製造(株)	15,000 15,000		蒸気罐 つねきち罐 八絨罐	船中種 つねきち罐 八絨罐		蒸気罐 つねきち罐 八絨罐 堅固機	1,200 40 1,240	394 9 403	100 % 転換済	尼崎工場 被害 100 % 播磨工場 ナシ 神戸工場 100 %	電圧ノ低下 コークス、油類等副資材 ノ不足 輸送ノ渋滞			
	日本造機工業(株) 古川製作所	10,000 10,000		牽引車 発着兵器			鉄道車輛部品 農耕機	216 112 328	272 15 287	転換済		コークス石炭 その他副資材ノ入手困難 熟練工不足			
	山中電機(株) 明石工場	2,000 2,000		ラヂオ受信機	通信機		電気製塩目下準備中	27 33 60		70 % 転換済	工場一部戦災 復旧程度 80 %				

表1-12 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
姫路	日本電研工業(株) 飾磨工場	300 300	電動機 変圧器 電気器具製作	電動機 変圧器 航空機用電気部品 特攻兵器部品	電動機 変圧器 その他電導工具 電熱器具	40 32 72	90 48 138	尼崎工場設備中ニシテ 未ダ進捗程度 20 %	ナシ	資金調達ノ不円滑 資材入手難
	(株)神戸鋳鉄所 播磨工場	3,500 3,500	鋳型並定盤	鋳型並定盤	鋳型並定盤 車輛用鋳物	640 160 22	169 800 191	戦時中ト何ラ変化ナシ	ナシ	コークス不足
(株)國采機械製作所	(株)國采機械製作所	1,500 1,500	船舶用補機類	船舶用3HRS型500馬力 ピストン主機械	船舶用3HRS型500馬力 ピストン主機械	198 99 297	120 14 134	該当セズ	建物 60 % 機械 40 % 現在復興工場ノ生産 資材所要量ノ不足 熟練工ノ払底	事業資金不円滑 生産設備ノ戦時的不備 資材所要量ノ不足 熟練工ノ払底
	川西航空機(株) 姫路製作所	60,000 37,500	局地戦闘機	局地戦闘機	金属家庭用品 自動車修理	1,431	250	進捗程度 40 %	全焼	保守ノ指令ヲ受ケ工作機械 ノ移動使用ヲシテエス
河部鹿嶋(株)	河部鹿嶋(株)	550 550	脱穀機 中耕除草器 毛羽取り器	舟艇部品 火砲部品	脱穀機 粗碎機 農用車 粉砕機	503 288 791	438 56 494	戦前ヨリ農機具ノ製作ニ 従事セシタメ転換ノ要ナシ	ナシ	資材入手困難 輸送困難
	(株)山本鉄工所	800 800	船舶用諸機械及部品 製紙用諸機械及部品 紡績用諸機械及部品 醸造用諸機械及部品	船舶用諸機械及部品 舟艇用部分品	万能粉砕機 押麦ローラー機 各種製材機	132 19 151	67 0 67	100 %転換	本社工場全焼	主材料の入手難 熔解用ノコークスノ入手難 カーバイド入手難 マシン油等入手困難ニシテ 機械運転不能
青木鉄工所	青木鉄工所	800 800	船舶部品 土木建築 橋梁瓦葺 鉄塔	軍、商、船舶内火機部品	船舶部品 農用機械器具	150 10 160	46 2 48	50 %進捗		燃料不足 材料不足
	家島内燃機(有)	114.5 114.5	船舶用内燃機関製作修理	船舶用内燃機関製作修理	船舶用内燃機関製作修理	10 0 0	24 0 24			電動力、燃料、食糧、 作業衣不足
山本電機工業(株)	山本電機工業(株)	120 120	船舶用発電機 配電盤 配電盤	船舶用特殊スイッチ 電機部品加工 船用発電機 配電盤	電動機修理 トランス修理 無線機修理 船舶用発電機 配電盤	110 16 126	47 5 52	全機 復旧程度 三機ノ内 二機竣工ス		資金不足 資材入手難 (新円払ノタメ)
	(株)尾上機械製作所	500 500	製造用諸機械	製造用諸機械	製造用諸機械	69 2 71	80 0 80		ナシ	職工主食ノ欠乏 (特ニ労務者加給米ノ欠如) 材料購入ニ際シテ現金不足
東京芝浦電気(株) 網干工場	東京芝浦電気(株) 網干工場	622,000 466,500	直流発電機 配電盤 電気炉 溶接機 磁気選別機	直流発電機 配電盤 電気炉 溶接機 磁気選別機	閉閉器 家庭用電熱器 農工用誘導電動機 電モーター 足踏機	1,501 1,014 2,515	1,483 158 1,641			資材、燃料ノ不足 通込機械ノ不足 熟練工員ノ不足 資金関係
	日本機械製造(株) 播磨工場	1,500 1,500	鋳鋼付属品	鋳鋼付属品	農機具	130 15 145	68 8 76	転換中		特殊鋼ノ不足 副資材及石炭ノ不足
シエアリー産業(株)	シエアリー産業(株)	4,500 4,500	冷凍器	海軍用機弾		2,457 217 2,674	30 217 30	昨年9月米軍ニ接収サレ 土地建物全部失ヒタリ 依而旧大阪陸軍造兵廠 白浜製造所ニ於テ民需 転換スベク申請中	左ノ通りナレバ記入 スベキ事項ナシ	
	(株)神戸鋳鉄所 播磨工場	350 350	鋳型 定盤	定盤	鋳型 定盤	640 160 800	175 31 206	戦時中ト設備ソノ他変化 ナシ	無	コークス不正ノ為
(株)播磨造船所 (松浦工場ヲ含ム)	(株)播磨造船所 (松浦工場ヲ含ム)	6,000 3,750	新造艦船 修繕艦船 その他 主機補機 缶、その他	新造艦船 修繕艦船 その他 主機補機 缶、その他	新造船 修繕船 その他 主機補機 缶、その他	19,482 1,233 20,715	3,556 292 3,848	松浦工場ハ戦時中船舶 ヲ建造セシモ目下薄鋼板 製品、製釘、製鉋、農機具、 鉄骨橋等ノ製造ニ転換中	被害程度 10 %	主要資材、補助材料等ノ 不足 主食、副食物ノ不足

(千円、人)

表 1 - 13 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		戦前	戦時中		戦後		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情 (千円、人)
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在			
豊岡	豊岡重工業(株)	198 198		舞鶴工廠受託品	大阪鉄道局プレーキ シュート車輻部品 鋤先及一般農具 魚吊り重り一般漁具	30 9 39	33 3 36	無	100 %	無	無	コークス入手難
	郡是工業(株) 兼父工場	23,667 23,667	生糸 副蚕糸	木製航空機補助翼	製糸機械 家具類	90 320 410	75 200 275	無	100 %	無	無	資材不足 主食配給ナキタメ
	郡是工業(株) 八鹿工場	23,667 23,667	生糸	航空機部品	製糸機械部品 鍋 フライ鍋 洗面器 弁箱	663 1,292 1,955	99 92 191	無	設備機械ニ依ル転換率 65 %	無	無	粗材入手難
	八鹿鉄工(有)	90 90	小農器具 (鉄その他)	呉海軍工廠電気部品	小農器具 (鉄、備中その他)	53 21 74	49 5 54	無	無	無	無	燃料不足 副資材中ベルト不足
	但馬鉄工(株)	1,980 1,980	各種機械器具 製作組立修理	発動機分解台及び 航空機部品 船舶部品	農器具(鋤、鉄、脱穀機、 除草機等) 各種機械器具 製作組立修理	70 9 79	66 2 68	無	100 %	無	無	金融措置令ニヨル事業資金 払出難並請物資購入難 薄鋼板入手難 カーバイド入手難 資材輸送難
	但馬造船(有) 津居山工場	196 196		標準型計画木造船	漁業用発動機船 並農業用小舟艇	56 2 58	32 0 32	無	無	無	無	食糧事情ノ逼迫ニ依リ 農漁等或程度ノ自給自足 ヲ目シテ勤者繰出 尚長時間ノ作業ニ耐ズ能率 低下
西脇	武田化工機器製作所	850 500		陶製手榴弾 耐酸熱化学機器 井	電気用器具 配線器具 和飲食器	45 18 63						封鎖現金入手不可能 地方銀行支店ノ行キスギ措置
	東播鉄工(株)	198 198		航空機 整備兵器	農機具 家庭用品 一般機器 修理加工	90 30 120	55 0 55					事業資金ノ不円滑 資材ノ入手難 外註品部品入手難
	播磨工業(株)	180 180		計器部品 発動機部品	家庭器物 農機具 池上コンネクター	33 14 47	36 12 48	無	100 %	無	無	主資材及ビ副資材ノ入手 困難ノタメ生産稍ヤ不充分 ナル傾向アリ
	東洋電機(株) 石生工場	2,000 2,000	絹織物	1943 年 12 月迄絹織物 44 年 1 月ヨリ特殊電線部器		20 96 116	40 12 52	無	完	無	無	材料入手ルートノ不明 資金難 銅物工場(下請)ノ怠業
	(株)大島製作所	198 198	教練銃 木銃 銃剣	BA 底板 機関銃部品	ベルトハンマー 研子機	24 24 48	26 7 33	無	転換進歩中ナルモ所要 資材入手困難ナルタメ 100 %採集ニ至ラス	無	無	資材及副資材ノ入手困難 ナリ及資金現金化出来サル タメ生産阻害ス
	川崎航空機工業(株) 北條工場 (播州園車製作所)	300,000 300,000		航空発動機用園車	紡織機用園車 自動車用園車 機関車用園車 漁船用園車 農機具用園車 一般機械用修理園車	2,020 504 2,524	69 4 73	無	転換ニ許可セラレタル 機械設備ハ 90 % 整備完了 セリ	無	無	各種油類及燃料入手至難 住宅ノ不足
大牟田	大牟田通信機(株) 社工場	198 198	鉄道保安装置及部品 電話機交換機及部品 有線無線通信機及部品	船舶無線通信機及部品 電波器箱体及部品	鉄道用通信機保安装置 及部品 通信機及部品 建築用戸車その他生活 必需金物	215 186 401	63 11 74	100 % 運転中	100 % 運転中	大阪本社工場戦災 ニヨリ全焼	大阪本社工場戦災 ニヨリ全焼	主要資材ノ入手不能ノ為ニ ニヶ月後ノ操業見込ナシ 副資材ノ入手不能 労務者不足

表 1 - 14 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946 年 4 月 1 日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目		労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在		
西脇	山陽利器(株)	1,500 1,500	播州鎌 機械鉋 皮革ナイフ	播州鎌	播州鎌 機械鉋 皮革ナイフ	1,257 298 1,555	1,730 119 1,849	無	主要資材及副資材ノ 入手困難
	田中榮吉製作所 金星工場		各種鉋 剪定鋏 木鋏 池の坊鋏 丁鋏	鉋	剪定鋏 木鋏 池の坊鋏 鉋 丁鋏	45 20 20 65	40 20 20 60		
	東洋電氣(株) 成松工場	2,000 2,000		配電盤 変圧器 箱開閉器	電気コンロ 電気アイロン 二筋スイッチ 刃型開閉器	174 851 1,025	134 95 229		資材入手難 外註部品ノ加工遅延 輸送難
	藤井鉄工所	200 200	紡績機表置製作	船舶用内燃機部品 航空機部品	自転車部品 自動車部品	15 0 15	15 0 15	無	食糧事情 燃料 潤滑油、切削油
	丹波産業(株)	400 400		建設中	粉砕機 脱穀機 押麦機 運搬車	59 65 124	111 24 135	全焼 復旧見込ナシ	食糧問題 金融問題 資材入手難 住宅難
洲本	帝国精密工業(株) 野村工場	5,000 5,000	無	中島歯車管 手動歯車管	紡績機械部品 工作機械部品	235 60 295	166 10 176	戦災ヲ蒙ラズ	資材副資材ノ入手困難
	淡路産業(株)	2,000 2,000		航空兵器 その他兵器	紡績機械 農器具 精米機 家庭用品	321 215 536	170 6 176	無	食糧不足ニ依リ工具吸収難 資材配給ノ正規ルート 確立ナキコト
	淡路製鉋(株)	180 180	支那ドブ貝	木鉋 椰子鉋 貝鉋	木鉋 椰子鉋 貝鉋	67 230 297	57 176 233	無	高級資材主員(南洋沖繩産) ドブ貝等輸送関係ニテ入手 困難
	三和製作所		工業用ミシン部品	工業用ミシン部品	工業用ミシン部品	47 23 70	15 5 20		
	日本時計製造所	180 180	電動ポンプ 電動機修理	発電機械	汎用電動ポンプ 精米機 農器具		85 3 88	無	コークスノ不足
	九添工業(株) 洲本工場	160 160	電気配線器具	電気配線器具	電気配線器具	70 150 220	46 61 107	本社ハ全焼セルモ 工場ハ異状ナシ	

(千円、人)



## Materials on the Trajectory of Machine Factories during and after the Pacific War: In the Case of Hyogo Prefecture

Minoru Sawai

It is well known that machine factories that were manufacturers of civilian goods in prewar period, were mobilized to the production of military goods during the war, then again were obliged to reconvert to the civilian products after the war. However, it is difficult to totally perceive the trajectory of machine factories during and after the war in certain region, though we can grasp the real situation of individual case by means of the company history.

Materials in this paper could partially highlight a difficult task in the contemporary economic history. These materials are compiled from *Kôjô Genkyô Chôsa* (Survey on the Situation of Factories, edited by the Department of Commerce, Industry and Economy of Hyogo Prefectural Government, 1946). In the following tables based on this survey, the trajectory of 169 machine factories in Hyogo prefecture during and after the war is shown.